

〈イカルがいる公園〉



いつもの散歩コースを歩いていると、何やら歩道上にせわしなく動いている物体が。イカルが集団でエサをついばんでいるようだった。その数30~40羽ほど！20メートルくらい離れていただろうか、そんなに離れていてもエサを食べる“ピチピチ”という音が聞こえて来る。イカルが飛び去った後、地面を見ると“エノキ”の実が落ちていて、きれいに割れていた。トレードマークの黄色い嘴は堅い木の実を割るのに都合よくできていて、噛む力は3~4kgにもなるそうだ。あの小さな体は70g前後らしいから、噛む力は実に体重の50倍ほどの力になる。60kgの私に換算すると、3,000kgという途方もない力だ。



エノキ以外にも堅い木の実を好んで食べるようだが、自然界の生き物にとってエサや棲みかとなる環境はそのまま生死を左右する大事な要素となる。翻って、人が生き続けられる地球環境は果たしてこのままでいいのかと、イカルに問われているような気がする。

